

12月1日(土) 一般発表スケジュール

場所	2階 201	2階 202	2階 203	2階 204	10階 1001
座長	久保 浩三	二又 俊文	野津 喬	安田 和史	
	知財経営	知財人材育成・知財教育	知財の実証分析	ブランド、デザイン	
10:00	1A1 長根(齋藤) 裕美 千葉大学 スター・サイエンティストの特許出願状況から見る産学連携 林元輝、牧兼充		1C1 吉田 哲 奈良先端科学技術大学院大学 米国特許における「情報」と「データ」の使い分けが審査結果に与える影響について 塩田国之、久保浩三	1D1 西村 雅子 特許業務法人大島・西村・宮永商標特許事務所 標識法の際～標識(商標・商品等表示)と色彩	
10:20	1A2 網中 裕一 東京医科歯科大学 産学連携研究センター 医学系大学が保有する「財産権の保護・尊重に係るリスク」の位置付けに関する一考察 飯田香緒里、川澄みゆり	1B2 島野 哲郎 宇部興産(株)知的財産部 企業における知的財産教育のあり方について 出口昌信、八角克夫	1C2 後藤 時政 愛知工業大学 経営学部 経営学科 特許戦略の良否が計れる特許情報パラメータの発掘 羽田裕、邊土名朝飛、野中尋史	1D2 関 真也 TMI総合法律事務所 標識法の際:我が国の標識法における機能・美感の保護	
10:40	1A3 川澄 みゆり 国立大学法人東京医科歯科大学 医学系大学における知的財産権に関するリスクに係る組織としてのマネジメントについての検討 飯田香緒里、網中裕一	1B3 富畑 賢司 国立大学法人大分大学 医看工芸連携活動における対象者別の知的財産教育プログラムの開発 野田佳邦、北村英隆、吉田悦子、富田直秀、辰巳明久	1C3 野崎 篤志 株式会社イーパテント プロダクトライフサイクル成熟期・衰退期における知財ミックスの定量的検証(II)	1D3 小川 徹 MARK STYLER(株) 標識法の際:商標の識別性獲得と他知的財産権の保護期間中の使用の評価	
休憩					
座長	長根(齋藤)裕美	原田 隆	箱田 聖二	小川 徹	
11:10	1A4 金井 昌宏 東京理科大学大学院イノベーション研究科イノベーション専攻 産学連携の知財管理における二律背反問題への対応—大学の研究成果の事業化に向けた適切な知財管理の在り方—	1B4(インテンシブ) 二又 俊文 東京大学政策ビジョン研究センター IoT時代における知財交渉スキルの重要性～実践訓練から見えてきた我が国企業人・大学生の交渉の特徴と課題 木村晋朗、野口博貴		1D4 安田 和史 (株)スズキアンドアソシエイツ ～標識法の際～リサイクル製品に対し商標法や不正競争防止法2条1項14号(品質誤認表示)による保護による純正品メーカーのアフターマーケット支配はどこまで可能か？	
11:30	1A5 佐々木 健一 関西医科大学 医学系単科大学における産学連携・知的財産マネジメントの一考察 塩島一朗		1C5 小池 秀雄 次世代パテントプラットフォーム研究会 近年の方法発明に係る知的財産権訴訟でのイ号方法の立証実務 矢永干将、三沢岳志、大和田昭彦	1D5 櫻谷 満一 知的財産教育協会 知的財産管理技能士会研究会 都道府県を権利者とする登録商標の分析—地域ブランド戦略の視点から— 野口真己、栗原佑介、我妻真二、戸谷景	
11:50	1A6 佐藤 諒之介 東京工業大学 産学連携における技術移転機関職員の役割に関する考察 橋本正洋	1B6 吉田 悦子 大阪大学知的基盤総合センター 芸術・デザイン系大学における知的財産教育の意義と実践モデル 辰巳明久	1C6 仙石 慎太郎 東京工業大学 バイオ医薬品分野における創薬プラットフォーム技術と戦略的知財管理 伊波興一朗	1D6 大塚 一貴 特許業務法人浅村特許事務所 標識法の際:商標的使用又は商品等表示としての使用の該当性に関する判断を分ける考慮要素～識別力以外の要素にも着目して～	
12:10		1B7 稲穂 健市 東北大学 主要な知財事件の報道実態の分析とその知財教育への応用	1C7 野津 喬 実践女子大学 植物新品種育成者権の権利維持戦略に関する実証分析	1D7 服部 謙太郎 竹田・服部法律事務所 標識法の際:商標法と不正競争防止法における類似	
休憩					

場所	2階 201	2階 202	2階 203	2階 204	10階 1001
座長	久保 浩三	片桐 昌直	野崎 篤志	西村 雅子	金間 大介
	知財経営	知財人材育成・知財教育	知財の実証分析	ブランド、デザイン	学生発表
13:00	1A8 羽田 裕 愛知工業大学経営学部 中小企業に向けた育成を軸とした産学官連携モデルの検討 後藤時政、野中尋史、羽田野泰彦	1B8 島 聡志 早稲田大学 創造理工学研究科 経営デザイン専攻 森康晃研究室 発明や創造力に資する幼児・初等教育段階のプログラミング教育についての研究 森康晃	1C8 開本 亮 神戸大学 国際特許分類を付与した学術論文の産学連携への応用(3)-IPC分類とJST分類のクロス集計- 福島芳隆、難波英嗣	1D8 五所 万実 慶應義塾大学大学院 商標の識別力と要部認定についての言語学的考察	
13:20	1A9 早乙女 周子 京都大学 米国バイオベンチャーのライアンス戦略に関する検討	1B9 岡田 廣司 東京福祉大学 社会福祉における知財人材・知財教育研究がもたらす観光の国際化の展望～ムスリム観光客との共生社会への創造を中心に～ 世良清、陳愛華	1C9 福島 芳隆 神戸大学 国際特許分類を付与した学術論文の産学連携への応用(4)-クロス集計による京大・阪大・神大の分析- 開本亮、難波英嗣	1D9(インテンシブ) 小川 徹 MARK STYLER株式会社 SNSによるPRと商標権(アパレル商品を中心として)	1E9 堀江 諒多 東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻 特許無償公開による技術優位性への影響—研究者の外部探索力と知識再吸収力は向上するのか— 吉岡(小林)徹、平井祐理、渡部俊也
		著作権、コンテンツマネジメント			
13:40		1B10(インテンシブ) 関 真也 TMI総合法律事務所 応用美術の著作権による保護の可否から権利範囲まで～ファッションローの観点を交えて～	1C10 八神 寿徳 三重大学 類似群コードによる分析を通じた大学の登録商標の特徴に関する考察 中川勝吾		1E10 古河 耀元 東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 外部デザイナーの関与が企業のデザイン活動に与える影響—家電メーカーの登録意匠情報とデザイン賞受賞情報による実証分析- 元橋一之、吉岡(小林)徹
14:00				1D11 貴答 信介 日本弁理士会商標委員会 商標法50条1項の「社会通念上同一」の範囲に関する一考察	1E11 菅井 内音 政策研究大学院大学、東京工業大学 スター・サイエンティストに着目した日米の特許分析 隅蔵康一、牧兼充、福留祐太、長根(齋藤)裕美
休憩					
座長	早乙女 周子		三浦 武範	関 真也	仙石 慎太郎
14:30	1A12 Harumy RIVERA CINCO 大阪工業大学/JICA Proposal for Mexican IP Strategies for Academia and Industry Collaboration		1C12 本田 瑞穂 株式会社カネカ 特許系AIツールを活用した技術動向調査における分類付与の検討 興梠光治	1D12 諏訪野 大 近畿大学 商標と名板貸責任	1E12 梶間 周一郎 東北大学大学院環境科学研究科 農林水産品の知的財産保護政策の政策過程:アジアにおける地理的表示政策を題材に 内山愉太、香坂玲
14:50	1A13 Jorge MAR 大阪工業大学/JICA Thriving Mexico through Collaborative Innovation strategy: Using Horizon scanning approach of Mexico's automotive industry		1C13 藤田 聡 東京工業大学 環境・社会理工学院 オープンガバメントデータ(OGD)の利活用を促進する要因について—ユーザ視点からの考察— 橋本正洋	1D13 杉浦 健文 日本弁理士会 意匠委員会 関連意匠制度の拡充に関する審議結果報告 青木覚史	1E13 土開 史也 東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻 サブスクリプションサービスによるアニメ配信がパッケージ販売へ与える影響の分析 渡部俊也、高野泰朋
15:10	1A14 谷川 英和 IRD国際特許事務所 特許明細書の標準化に向けた取り組み～特許文書品質特性モデル～ 安彦元、黒川恵、久保田真司、杉尾雄一、的場成夫、清藤弘晃、石附直弥、石川雄太郎		1C14 李 テイ 株式会社プロパティ 海外特許データベースにおけるアジアデータの信憑性と完備性の比較分析	1D14 井手 李咲 (一財)知的財産研究教育財団 知的財産研究所 韓国における地理的表示保護の近況に関する一考察	1E14 黄 麒文 国立台北科技大学 日本語商標の漢字文化圏消費者における嗜好分析—台湾消費者を対象として— 田中秀穂